



10 人や国の不平等をなくそう



人や国の不平等をなくすことはなぜ大切か

目標の内容は何ですか。

国内および国家間の不平等を是正することです。

なぜ、この目標が設定されたのですか。

所得や性別、年齢、障害の有無、性的指向、人種、階級、民族、宗教、機会を理由とする不平等は世界各国の中で、そして各国の間で根強く残っています。不平等は長期的な社会と経済の発展を脅かし、貧困削減を阻み、人々の達成感と自尊心を破壊します。これが犯罪や疾病、環境破壊の温床となるおそれもあります。

最も重要なのは、人々が機会やサービス、生活を向上できるチャンスから排除されていれば、持続可能な開発を達成し、すべての人にとって地球をよりよい場所にすることはできないということです。

不平等の例には、どのようなものがありますか。

5歳未満児 6,900万人が、ほぼ予防可能な原因で死亡しています。農村部の女性は都市部の女性に比べ、出産時に死亡する確率が3倍高くなっています。開発途上国では、多くの家庭が、1990年代よりも所得の分配が不平等な社会に暮らしています。これらはほんのわずかな例にすぎ

世界人口の
いずれの部分も
除いても、
持続可能な開発
を達成すること
はできません。

ませんが、同じ問題は世界のあらゆる国に見られます。

私自身は差別を受けていませんが、それでも不平等について関心を持つ必要があるのはなぜですか。

今日の世界では、私たち全員が相互に関係しています。貧困、気候変動、移住、経済危機といった問題や課題が、ある国や地域に限定されて生じることはありません。

最も豊かな国にさえ、極度の貧困の中で暮らすコミュニティがあります。最も歴史の古い民主主義国も、依然として人種主義、同性愛者やトランスジェンダーに対する嫌悪、宗教的不寛容と闘っています。最近の国連児童基金（UNICEF）による報告書は、高所得国の数カ国で、子どもの不平等が広がっていることを指摘しています。

私たちが誰で、どこの出身であろうとも、グローバルな不平等は全員に影響を及ぼすのです。

この世界で実際、すべての人の平等を達成することができるのですか。

すべての人の尊厳ある暮らしを確保することは可能であり、義務でもあります。政治的、経済的、社会的な政策を普遍的なものにし、恵まれないコミュニティや社会から隔絶されたコミュニティに特に関心を払う必要があります。

それが可能であることは、最近の統計を見ても分かります。2007年から2012年にかけ、特にラテンアメリカ・カリブ地域とアジア地域の50カ国以上で、最貧世帯の一部の平均所得が、全国平均を上回る上昇を見せており、これらの国での所得格差は縮まっています。

私たちには何ができるのですか。

不平等を是正するためには、大々的な変革が必要です。極度の貧困と飢餓を根絶するとともに、特に若者や移民その他の社会的弱者コミュニティの保健、教育、社会保障、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）への投資を増やすための取り組みを強化する必要があります。

各国の国内で、エンパワーメントや、包摂的な社会・経済成長を図ることが重要です。差別的な法律や政策、慣行を廃止すれば、私たちは機会の平等を確保し、所得の不平等を是正できるのです。

各国の間の格差については、開発途上国がグローバルな課題に関する意思決定にもっと参加できるようにする必要があります。そうすることによって、解決方法はより効果的で信頼性があり、説明責任を伴うものとなり得ます。

各国政府やその他のステークホルダーも、戦争や差別、貧困、機会の欠如などの移住を促進する要因に伴い、よりよい暮らしを求めて故郷を離れた数百万人の移民を対象に、計画性のある管理の行き届いた政策を実施することなどを通じ、安全かつ正規の責任ある移住を促進できます。

目標10をはじめ、持続可能な開発目標についてさらに詳しくは、こちらをご覧ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

日本語訳：国連広報センター



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD